

学園だより



第71号

東京都社会福祉事業団

発行 東京都船形学園

令和7年10月15日発行



船形小最後の  
**運動会**

子どもたちが通っている船形小学校が今年度いっぱい閉校することになりました。年度いっぱい閉校することになりました。たくさんの方の思い出がある船形小学校がなくなってしまうのは、子どもたちも職員も寂しい気持ちになります。今年度で最後とはいえ、船形魂はなくなりません。子どもたちは、船形小学校で学んだことを思い出しながら過ごして欲しいと思っています。

さて今年度の運動会は、最後ということで子どもたちも気合が入っており、「絶対勝つ」と意気込んでいました。それぞれの組で優勝を目指して頑張っている姿を見ることが出来ました。競技の中で特に印象に残っているのは、徒競走。最後の最後で抜かれてしまい涙する姿や、一位を取れて嬉しそうな姿が見られ白熱していました。職員も大声で応援をして、感極まることもありましたが、ダンスも上手に踊っていたのも印象的です。今年度は「ネクタリン」という曲に合わせて踊っていました。子どもたちの可愛い、かっこいい姿を見ることができ、職員も写真撮る手が止まりませんでした。「よく頑張ったね。」とたくさん褒めてあげたいです。これからの子どもたちの成長がとても楽しみです。

来年度は那古船形小学校へ通うこととなりますが、今後も子どもたちの成長を一緒に見守っていただくと幸いです。

**船形地区親善バレーボール大会**  
 参加しました！

八月十七日に開催された船形地区親善バレーボール大会に、今年も船形学園として参加させていただきました。

大会当日は天候にも恵まれ、各地区のチーム同士での熱戦を観戦することができました。残念ながら、私たちのチームは一つも勝ち星を付けることはできませんでしたが、他のチームのプレーを見て、自分たちに足りない部分や新たな課題も見つかり今後の練習に繋げていきたいと思います。

このような貴重な経験を得る機会をくださった大会関係者の皆様、日頃より学園を見守ってくださいている地域の皆様にも心より感謝申し上げます。チームワークだけでなく、バレーの技術も成長していきたいと思います。

**ボランティア募集中！**

あなたの趣味や特技を活かしてみませんか？船形学園ではボランティアさんを募集しています。これまで新型コロナウイルスの感染拡大により休止していましたが、ボランティアの募集を再開しました。ボランティア活動に興味、関心がある方はぜひ当園のボランティア担当までご連絡ください。

**CAP研修**  
 を終えて

勉強中です

職員向け大人ワークショップを体験し、CAPについて学ぶことで子どもだけでなく、大人も子どもを守るためにできることを理解することができました。その後、小学生・中学生を対象にしたワークショップを二日間行いました。小・中学生に子どもの権利について説明し、相談することの重要性についても話をされました。グループワーク等にはしっかりと参加が出来ており、CAPの方が尋ねると答えることもできていました。「安心・自信・自由」継続的に研修をすることの大切さも感じられました。

← 学園ブログはこちら

学園だより 「さざなみ」第71号  
 発行年月日 令和7年10月15日発行  
 編集・発行 東京都船形学園  
 千葉県館山市船形1377  
 電話 0470-27-2921  
 ホームページ  
[jigyodan.org/funakata-gakuen/](http://jigyodan.org/funakata-gakuen/)

**編集後記**

涼やかな秋の風が吹く季節となりました。皆様には日頃よりご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

今年の夏も厳しい暑さでしたが、子どもたちは元気いっぱい、様々な行事や部活動に取り組んでいました。

これからは寒くなりますので、皆様ご自愛ください。

この号に関するお問い合わせは、船形学園広報担当までお願いいたします。



## 中学3年生 部活動3年間を終えてのインタビュー

中学校3年間の部活を終えた今の気持ちを直撃！

- ① その部活に入ったきっかけはなんですか？
- ② やめようと思ったことはある？続けられた理由は？
- ③ 3年間の部活動を振り返って感謝する人や物はありますか？
- ④ 3年間の部活動の1番の思い出は？

Mさん(バスケ部)

- ① テニス部と悩んだけど上下関係がなくて楽しそうだったから。
- ② ある。続けられたのは、バスケは好きだったから。
- ③ 部活の子たち。
- ④ 試合でシュートが入るようになったこと、ほめられることが増えたこと。



M君(テニス部)

- ① 今までやったことがなかったから。
- ② あります。顧問に言われたことがめんどくさいと感じたから。
- ③ 仲間。顧問の先生、ラケット
- ④ 大会で一勝できたこと



Y君(テニス部)

- ① 気まぐれ。
- ② やめようと思ったことはない。楽しいから。
- ③ 保護者
- ④ テニスはやっぱり楽しい！いつも3回戦で負けてくやしかった。



S君(バスケ部)

- ① 気づいたら入ってた！
- ② やめようと思ったことはある。だがしかし、自分にしかない個性があると信じ続けた。
- ③ Basketba〜〜!!だぜ！
- ④ 2年生の半年が過ぎたぐらいから急激に"basketball"が上手くなったこと。



Mさん(バレー部)

- ① 勧誘されたから
- ② やめたいと思ったことある。辛いことを乗り越えたいいいことがあるから。続けると決めたことは最後までやる責任があるから。
- ③ 顧問の先生、『仲間』
- ④ 仲間と作り上げた『絆』



## 江戸っ子杯



7月29日、「江戸っ子杯 ドッチボール大会」に小学生7名が参加しました。まず、ドッチボールの参加人数は12名ですので、今年度の船形学園はその人数に達していませんでした。それでも他の学園の子どもとの合同を選ばずに、自分たちだけで戦うことを決めました。6月に入ってからは毎週練習しました。少ない人数だからこそ、一人一人ができることを活かしながら、最善のフォーメーションも考えました。当日、その練習の成果を存分に発揮してくれて、対戦相手や会場の方々も驚くほどのチームワークを発揮してくれました。結果は惜しくも予選リーグ敗退でしたが、勝つことを目指して頑張ることができたことに誇りを持ってほしいです。

### ～6年生のキャプテンからメッセージ～

人数が少なくなって、そんな中でもドッチボールをやる、やりたいというやる気や元気いっぱいの声を出し続けました。去年は1勝すらできない敗北の江戸っ子杯でありましたが、先生たちのアドバイス、フォーメーションの動き方、みんなのやる気などの工夫、行動で1セット勝つことができました。もちろん2セットを勝ち取ることは無理でした。ですが勝った思いが久しぶりにできて良かったです。



## ～船形祭礼～



### 諏訪神社例大祭

今年の7月26日、27日に諏訪神社例大祭が行われました。学園職員も地域の一員として参加しました。地域の方々の中には今は船形から出て、働いているが、毎年祭礼の時期には帰省している方や、学園の卒園生のなかにも祭礼のために帰ってきてくれる方もいる。地域の恒例行事の意義として、この地域で育った仲間が集まり、同じ時間を共有できる場所だと感じました。

ところで祭礼と言えば毎年真夏に行われていましたが、猛暑対策のため、時期が来年より早まることになっています。

夏の風物詩でもあったため、少し寂しい気もしますが…いつの開催であっても、変わらず地域の一員として参加させてもらいたいと思います。

